

2020年度 指定管理者導入施設総合評価表

【施設概要】		所管課	学校教育課
施設名	須坂市南部児童センター、須坂市東部児童センター、須坂市北部児童センター		
所在地	(南部児童センター)須坂市墨坂南4丁目1番8号 (東部児童センター)須坂市大字日滝91番地4 (北部児童センター)須坂市大字小河原3305番地1		
施設設置目的	児童に健全な遊びの場を提供し、集団的及び個別的な指導を通じて心身の健康の増進と豊かな情操を育む。		
施設概要・設備	(南部児童センター) 建物の構造:鉄筋造2階建て 敷地面積:659.61㎡ 延べ床面積 309.00㎡ 施設の内容:遊戯室、事務室、休養室、器具室、図書室、集会室 (東部児童センター) 建物の構造:鉄筋造2階建て 敷地面積:751.00㎡ 延べ床面積 330.05㎡ 施設の内容:遊戯室、事務室、休養室、器具室、図書室、集会室 (北部児童センター) 建物の構造:鉄筋造2階建て 敷地面積:1,154.31㎡ 延べ床面積 388.29㎡ 施設の内容:遊戯室、事務室、休養室、器具室、図書室、集会室		
建設年月	(南部児童センター)1982年3月 (東部児童センター)1984年3月 (北部児童センター)1993年3月	指定管理 開始年月	2020年4月1日

【指定管理概要】

指定管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス(株)
指定期間	2020年4月1日～2025年3月31日
業務内容	児童センター管理運営業務 ・児童健全育成に関すること ・放課後児童健全育成に関すること(地域児童クラブ) ・遊びの広場に関すること(子育て支援事業)
職員体制	常勤:6名 非常勤:25名 合計:31名
(専門職、役職等内訳)	所長:3名(各施設1名)、厚生員:3名(各施設1名)、支援員等:25名

1 施設利用状況

項目	単位	目標値	実績			対前年比	対目標値
			2020年度	年度	年度		
(南部)遊びの広場等	人	—	2,610				
地域児童クラブ	人	—	11,551				
(東部)遊びの広場等	人	—	2,068				
地域児童クラブ	人	—	8,887				
(北部)遊びの広場等	人	—	1,358				
地域児童クラブ	人	—	5,319				
特記事項	1 ページ						

2 収支の状況

単位:千円

指定管理者			市				
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額		
収入	指定管理料	55,209	55,286	収入	放課後児童クラブ利用料	5,273	4,942
	使用料・手数料						
	その他				その他		
	収入計	55,209	55,286		収入計	5,273	4,942
支出	人件費	47,722	47,228	支出	指定管理料	55,937	55,286
	事務費	699	351		修繕費	1,000	77
	事業費	1,289	1,592		備品購入費	732	521
	管理費	2,387	4,050				
	その他	3,112	2,064		その他		
	支出計	55,209	55,285		支出計	57,669	55,884
管理事業損益 (a)	0	1	管理事業損益	-52,396	-50,942		

自主事業	収入	0
	支出	0
	自主事業損益(b)	0
損益 (a) + (b)		0

※修繕費、備品購入費予算額については、中央児童センター分も含む。

特記事項	
------	--

3 自主事業の実施状況

自主事業実績	なし
--------	----

収入			支出		
項目	金額	備考	項目	金額	備考

4 利用者評価

①利用者要望の把握	(1)利用者要望の把握方法(時期・方法・回答数等) ・午前中の遊びの広場に来館した保護者に、1月にアンケート調査を行い、50人より回答をいただいた。 ・放課後児童クラブ登録児童保護者(家庭数)に、1月にアンケート調査を行った(結果等については放課後児童クラブの評価表にまとめて記載)。
	(2) 調査等の結果 ・利用した児童センターはどこか(複数可)(中央31 南部19 東部20 北部18) ・「遊びの広場」について(楽しかった 93.8%、まあまあ楽しかった 6.3%) ・行事に参加して(楽しかった 97.8%、まあまあ楽しかった 2.2%) ・楽しかった行事(クリスマス会、運動会、消防署見学 など)
②利用者からの声	(1)良好とする評価 ・色々なおもちゃがあり、子どもも喜んでいる。 ・職員の皆さんが優しく明るく接してくださりととても嬉しい。 ・子どもが先生のことが大好きなのでセンターに来るのが楽しみ。 ・様々な活動に子どもと参加できて楽しい。 ・季節の行事では家では体験できないようなこともできるので嬉しい。
	(2) 苦情・改善の要望 ・駐車場が雨が降るとぬかるんでしまうので整備をして欲しい。 ・駐車場の入り口を広くして欲しい。 ・冬が寒い。暖房器具をもう1台増やして欲しい。
③対応措置	・駐車場について要望のあったセンターについては、ぬかるみ防止のため、新たに砂利を入れた。また、出入りがしやすいように入出口を新たに設け、入口、出口を分けた。 ・暖房については温度設定を上げたり、暖房器具を増やす等、検討していく。

5 項目別評価

		評価	評点	
1	指定管理者の健全性	団体の財務状況(※営利企業のみ)や組織体制は、他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か	○	2
2	施設利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	—	2
		施設の利用者数や稼働率を維持、向上させるための取り組みや工夫がおこなわれているか	○	
3	財務状況・経理	指定管理業務会計と自主事業や団体の会計を区別して、適正に管理しているか	○	2
		収支予算に基づき、予算の範囲で適切な支出が行われているか施設運営に不要な経費の支出がないか	○	
		収入増加への取り組みを行い、その効果はあったか※無料施設は対象外	—	
		経費節減への取り組みを行い、その効果はあったか	○	
		経理帳簿や伝票等の保管、現金の取扱は適切に行われているか	○	
4	施設運営管理	協定書に定められた閉館日、開閉館時間等を遵守しているか	○	2
		日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	○	
		利用者が快適に利用できるよう、施設の清掃や整理整頓が行われているか	○	
		施設の備品を適切に管理しているか	○	
		必要な修繕は適切に実施され、市に報告しているか	○	
		協定書等で定められた事業計画・報告書、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	○	

		業務の第三者委託の範囲、理由、委託先は適当であるか	○	
		省資源・省エネルギー、廃棄物減量等環境への配慮がされているか	○	
5	職員体制	施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	○	2
		職員の資質・能力向上を図る取組みや研修がなされたか	○	
		労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか	○	
6	利用者サービス	利用者に対する職員の接客マナー(言葉づかい、態度、服装等)は適切か	○	2
		障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理・運営がなされているか	○	
		特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	○	
		地域や地域住民との交流・連携に関する取組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか	○	
		アンケート調査や意見箱等により、利用者からの意見や苦情等を把握し、施設運営に反映する仕組が整っているか	○	
7	安全対策・危機管理	危険箇所の把握や対応マニュアルの策定等、事故防止や安全確保のために必要な対策が講じられているか	○	2
		事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	○	
		必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求の対応措置が講じられているか	○	
		利用者名簿等の個人情報適切に管理されるとともに、職員研修の実施等、漏洩防止の対策が講じられているか	○	

合計点	14 点
総合評価	B

評点
 ・各項目の評価に◎があり、その他は○…3点
 ・各項目の評価がすべて○…2点
 ・各項目の評価に△があり、×はない…1点
 ・各項目の評価に×がある…0点
総合評価
 A (優れている) 合計15点以上
 B (適正) 合計14点
 B' (若干の改善が必要) 合計11点~13点
 C (さらなる努力が必要) 合計10点以下

評価基準
 ◎ … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の適切な実施かつ期待以上の成果。
 ○ … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業が適切に実施されている。
 △ … 協定、事業計画に基づく管理運営の一部が予定どおり実施されていない。
 × … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が行われていない。

6 指定管理者による自己評価

(1)今年度の取り組みに対する評価
 (利用者増加、サービス向上、経費削減など、5の項目別評価に△、×がある場合は改善策を記入)
 ○コロナ禍の中、制約はあったが児童センターとしての役割を最低限ではあるが果たすことができた
 ○コロナ禍の中、子どもが安心して過ごせる生活の場所として衛生面、環境面ともにコロナ対策をしっかり行った上で対処できた
 ○昔遊びと、現代遊びをバランスよく取り入れ、弊社ノウハウを活かした皆で楽しめる遊びと学びある運用がきた(放課後児童クラブ)
 ○保護者との情報共有のために「携帯アプリ」や「連絡帳」を導入した結果、子どもたちの活動や健康観察、対面での声掛けに活用できた(放課後児童クラブ)
 ○修繕や備品購入について必要なものを予算の範囲内で迅速に提供でき、コロナ対策にも有効に活用できた
 (2)課題
 ○センター独自の企画がコロナによりほとんどできず、地域連携や中高生向け企画、異世代交流等、今後の新生活様式に向けては方法や時期、対象について検証が必要と考える
 ○コロナ禍の中で前期においてセルフモニタリングが定期的に行えなかったが、後期からは、統括責任者巡回時に実施した。
 (3)次年度以降の取り組み
 ○新しい生活様式に合わせた児童センターのあり方を担当課と話し合い実施していく
 ○保護者への情報共有をもっと掘り下げるため、現在、使用中の携帯アプリや連絡帳、その他のツールを有効活用して子どもたちの様子をもっと共有できるようにしていく(放課後児童クラブ)
 (4)その他
 ○コロナ感染予防対策を最重要課題として取り組んできたが、次年度以降もマニュアルを中心に取り組みを強化・進化させていく

7 市による総合評価

(1) 今年度の取り組みに対する総合評価

- ・指定管理者制度に移行した一年目だったが、市担当課や中央児童センター、子育て支援センター、学校等と丁寧に連携しながらスムーズに移行することができた。特に放課後児童クラブについては、新型コロナウイルス感染症による4月、5月の学校臨時休業期間中の開所について、急な決定の中、連携を取りながらしっかりと対応いただき、普段どおり児童を受け入れることができた。
- ・古くなった備品の入れ替えや施設の修繕を適切に行い、利用者へのサービスにつなげた。
- ・コロナ禍の影響で様々な制限を受けながらも、感染予防対策をしっかりと取りながら、適切な管理運営を行い、利用者からも良好な評価を得ることができた。
- ・保護者との連絡ツールとして携帯アプリを導入した。緊急連絡手段や、お便り等日頃の活動の様子をお知らせするツールとして、利用が広がることを期待する(放課後児童クラブ)。
- ・今年度より支援員の配置数を増やしたことで、新たな職員も増えている。研修等を適切に行い、資質の向上を図りながら、引き続き、保護者の満足度が高い「職員の対応」に努めていただきたい(放課後児童クラブ)。

(5) の項目別評価に△、×がある場合は改善策、改善要望を記入